



平成29年11月30日

各位

上場会社名	株式会社アーレスティ
代表者	代表取締役社長 高橋 新
(コード番号	5852)
問合せ先責任者	経営企画部長 成家 秀樹
(TEL	03-6369-8664)

(訂正) 「平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成28年8月8日付で公表しました「平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容及び理由

訂正内容につきましては、本日付で公表しました「第97期 第2四半期報告書の提出、過年度の有価証券報告書及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」、理由につきましては、平成29年11月13日付で公表しました「過年度の連結財務諸表等に関する誤謬の判明のお知らせ」をご参照下さい。

2. 訂正箇所

訂正箇所は、四半期連結財務諸表中の法人税等調整額の訂正とそれに伴う繰延税金資産又は繰延税金負債の訂正であり、付随する各項目であります。

訂正の箇所には下線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正箇所を含め訂正後のみ全文を添付しております。

以 上

(訂正後)



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月8日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東
 コード番号 5852 URL http://www.ahresty.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石丸 博 TEL 03-6369-8660
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	34,258	△2.7	2,340	150.1	2,090	232.0	1,562	984.7
28年3月期第1四半期	35,217	9.0	936	51.7	629	87.1	144	26.7

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △2,003百万円 (ー%) 28年3月期第1四半期 893百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	<u>60.46</u>	<u>60.01</u>
28年3月期第1四半期	<u>5.58</u>	<u>5.54</u>

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	<u>130,747</u>	<u>57,052</u>	<u>43.5</u>
28年3月期	<u>139,496</u>	<u>59,262</u>	<u>42.4</u>

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 56,920百万円 28年3月期 59,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	6.00	ー	8.00	14.00
29年3月期	ー				
29年3月期(予想)		8.00	ー	8.00	16.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	66,200	△8.3	3,050	67.7	2,650	114.4	1,650	<u>383.0</u>	63.84
通期	134,400	△7.0	6,000	11.4	5,200	27.5	3,750	<u>91.0</u>	145.09

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	26,027,720株	28年3月期	26,027,720株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	181,758株	28年3月期	181,586株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	25,846,078株	28年3月期1Q	25,826,677株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による財政・金融政策を背景に雇用環境が改善するなど緩やかな回復基調にあるものの、中国を中心とした新興国経済の減速や英国のEU離脱問題などによる株式相場、為替相場の不安定な動きにより先行き不透明な状況が続いております。海外においては、アメリカの景気は労働市場の先行きに不透明感が台頭する一方で、個人消費は足下で加速の動きが見られております。アジアでは中国景気の減速が続いており、底堅い個人消費の推移は期待できるものの景気の底入れ、反転は厳しい状況です。インドの景気は内需を中心に堅調に推移しております。

このような環境の中で、1618中期経営計画に基づき、グローバルでものづくりに焦点を当てた施策展開を進めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高34,258百万円(前年同四半期比2.7%減)、営業利益2,340百万円(前年同四半期比150.1%増)、経常利益2,090百万円(前年同四半期比232.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,562百万円(前年同四半期比984.7%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ダイカスト事業 日本

国内では、主要顧客である自動車メーカーにおいて、北米市場向けを中心とした輸出は引き続き好調を維持しており、当社の受注もほぼ前年同四半期と同水準であったものの、主にアルミ地金市況が大きく下落したことにより、売上高は14,835百万円(前年同四半期比2.4%減)となりました。収益面においては、主に生産性改善による効果等により、セグメント利益は725百万円(前年同四半期比21.9%増)となりました。

② ダイカスト事業 北米

北米では、主要顧客である自動車メーカーにおいて、ライトトラック系車種を中心とした販売が好調を維持しています。当社においても関連部品の受注がありましたが、一方で生産終了に伴う受注減少やアルミ地金市況が大きく下落したこと及び円高基調にある為替換算影響等により、売上高は11,035百万円(前年同四半期比8.1%減)となりました。収益面においては、主に生産性改善の効果等によりセグメント利益は1,029百万円(前年同四半期比199.2%増)となりました。

③ ダイカスト事業 アジア

中国では、主要顧客である日系自動車メーカーにおいて、昨年スタートした小型車に対する減税効果により前年を上回る販売が続いており、当社においても関係する新規部品立上げもあり受注量が増加しました。一方インドでは、市場ニーズの変化によるディーゼル車向け部品が減少したこと等により受注量は減少しました。これらの背景の下、両地域におけるアルミ地金市況が大きく下落したこと及び円高基調にある為替換算影響等があったものの、中国での売上増が大きく影響し、アジアでの売上高は6,432百万円(前年同四半期比3.2%増)となりました。収益面においては、主に増収による増益効果等によりセグメント利益は382百万円(前年同四半期はセグメント損失132百万円)となりました。

④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、前年同四半期に比べると受注量は増えましたが、アルミ市況変動により販売価格が下落した結果、売上高は1,123百万円(前年同四半期比11.7%減)となりました。収益面においては、アルミ市況変動により原材料価格が下落したことや、原価低減活動による効果等によりセグメント利益は90百万円(前年同四半期比21.0%増)となりました。

⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム物件やコンピュータールーム向け物件等の受注により、売上高は831百万円(前年同四半期比65.0%増)となりました。収益面においては、主に増収による増益効果等により、セグメント利益は59百万円(前年同四半期比77.5%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ8,749百万円減少して130,747百万円となりました。主な要因は、売上債権の減少2,795百万円、円高基調にある為替換算影響等による有形固定資産の減少5,171百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ6,538百万円減少して73,695百万円となりました。主な要因は、借入金の減少5,152百万円、仕入債務の減少1,275百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ2,210百万円減少して57,052百万円となりました。主な要因は、円高による為替換算調整勘定の減少3,055百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益等による利益剰余金の増加1,355百万円によるものであります。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末42.4%から43.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成28年5月9日に公表した業績予想を修正いたしました。詳細については、平成28年8月8日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,505	5,228
受取手形及び売掛金	24,055	21,172
電子記録債権	2,021	2,108
商品及び製品	2,999	2,695
仕掛品	4,006	4,163
原材料及び貯蔵品	3,351	3,106
その他	3,242	2,962
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	44,181	41,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,434	15,604
機械装置及び運搬具(純額)	48,376	45,165
土地	5,268	5,247
建設仮勘定	7,724	7,036
その他(純額)	8,002	7,581
有形固定資産合計	85,806	80,635
無形固定資産	1,628	1,604
投資その他の資産		
投資有価証券	6,201	5,438
その他	1,678	1,633
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	7,879	7,072
固定資産合計	95,314	89,311
資産合計	139,496	130,747
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,065	10,596
電子記録債務	6,053	6,248
短期借入金	4,536	2,403
1年内返済予定の長期借入金	10,850	9,909
未払法人税等	475	649
賞与引当金	1,568	2,155
役員賞与引当金	20	—
製品保証引当金	121	103
その他	8,612	8,071
流動負債合計	44,304	40,138
固定負債		
長期借入金	27,062	24,983
長期未払金	1,671	1,671
退職給付に係る負債	2,985	3,013
その他	4,209	3,888
固定負債合計	35,929	33,557
負債合計	80,233	73,695

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,939	6,939
資本剰余金	10,180	10,180
利益剰余金	<u>33,256</u>	<u>34,612</u>
自己株式	△271	△271
株主資本合計	<u>50,105</u>	<u>51,461</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,875	2,346
為替換算調整勘定	<u>6,780</u>	<u>3,724</u>
退職給付に係る調整累計額	△629	△612
その他の包括利益累計額合計	<u>9,025</u>	<u>5,459</u>
新株予約権	131	131
純資産合計	<u>59,262</u>	<u>57,052</u>
負債純資産合計	<u>139,496</u>	<u>130,747</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	35,217	34,258
売上原価	31,644	29,218
売上総利益	3,572	5,040
販売費及び一般管理費	2,636	2,699
営業利益	936	2,340
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	55	59
スクラップ売却益	39	23
その他	43	78
営業外収益合計	144	166
営業外費用		
支払利息	334	250
為替差損	110	122
その他	5	42
営業外費用合計	450	416
経常利益	629	2,090
特別利益		
固定資産売却益	1	2
補助金収入	42	19
特別利益合計	44	21
特別損失		
固定資産除売却損	32	37
特別損失合計	32	37
税金等調整前四半期純利益	641	2,075
法人税、住民税及び事業税	475	737
法人税等調整額	22	△224
法人税等合計	497	512
四半期純利益	144	1,562
親会社株主に帰属する四半期純利益	144	1,562

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	144	1,562
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	436	△528
為替換算調整勘定	290	△3,055
退職給付に係る調整額	21	17
その他の包括利益合計	749	△3,566
四半期包括利益	893	△2,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	893	△2,003
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	15,196	12,010	6,233	1,272	503	35,217
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,173	0	343	1,192	—	2,710
計	16,370	12,010	6,576	2,465	503	37,927
セグメント利益又は損失(△)	595	344	△132	74	33	914

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	914
セグメント間取引消去	21
四半期連結損益計算書の営業利益	936

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	14,835	11,035	6,432	1,123	831	34,258
セグメント間の内部売上高 又は振替高	815	2	351	1,080	—	2,250
計	15,650	11,038	6,783	2,204	831	36,509
セグメント利益	725	1,029	382	90	59	2,287

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,287
セグメント間取引消去	53
四半期連結損益計算書の営業利益	2,340

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。